

教科	介護実習	学科・学年	社会福祉科 2年	単位数	5単位
目標	1. 実習先である施設や事業所が、地域においてどのような働きや役割を果たしているか理解する。 2. 利用者とのコミュニケーション等を通して、ニーズを捉える力を身につける。 3. 利用者のニーズに応じた基本的な生活支援の技術を身につける。 4. 利用者の生活支援のため、関係機関や専門職種との連携のあり方を理解する。				
評価方法	1. 実習の出席状況 2. 実習態度 3. 実習記録の提出状況 4. 自己評価 5. 実習先からの評価や巡回する教員による評価 などから総合的に評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】挨拶や言葉遣いに留意し、利用者の尊厳を大切にする態度で、意欲的に実習に取り組むことができる。 【思考・判断】利用者のニーズを把握し、状況に応じた支援について考え、適切な介護を提供することができる。 【技能・表現】基本的な生活支援の技術を身につけている。観察技法を用いて、適切に記録を書くことができる。 【知識・理解】実習先である施設や事業所、介護の業務、利用者の生活の特性を理解している。				
使用教科書	介護総合演習（メヂカルフレンド社）				
使用副教材					
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4					
5					
6					
7					
反省					
8					

9 介護実習 I (現場実習 23 日間) 平成 24 年 9 月 5・6 日 11・12 日 18・19・20 日 25・26・27 日 10 月 31 日 11 月 1 日 10 11 ・特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）での実習 (10 日) ・介護老人保健施設での実習 (10 日) 12 ・訪問介護事業所での実習 (3 日)	□各施設・事業所の役割を理解する □要介護高齢者の日常生活や生活環境、疾病・障害等を理解する。 □利用者と積極的にコミュニケーションを図る □基本的な介護技術が身につけている □提供される介護内容の必要性を理解する □介護実践に必要な情報を収集する □実習記録が作成できる。 □他職種の役割と連携について理解する □介護理念や介護倫理について理解を深める □利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解する	□在宅生活者への支援体制のあり方を理解する □訪問介護員の役割がわかる □生活援助・身体介護を実践し、必要な技術が身につける	・実習目標、出席簿の提出 ・実習記録の提出 ・課題（記録）の提出 実習先の概要、オリエンテーション、反省・感想 ・健康管理表の記入 ・実習項目チェックリストの記入 ・自己評価 A□ B□ C□
反省			
1			
2			
3			
反省			